

6.7.1.	Drag & Drop 機能.....	24
6.7.2.	作成した CSV ファイルの 1 行目に項目名を記入している場合	25
6.7.3.	言語の切り替え機能.....	26
6.8.	検索機能.....	27
6.9.	展開機能と折りたたみ機能.....	30
6.10.	用語集のプロパティ編集機能.....	32
6.11.	親との関係のビジュアル化	34
6.12.	比較機能	35
6.12.1.	用語集単位での比較	35
6.12.2.	用語単位での比較.....	39
6.13.	マッピング機能	40
6.14.	用語の CSV エクスポート機能.....	46
6.15.	用語の CSV インポート機能	47
6.16.	CSV フィルインポート機能	48
6.17.	CSV ファイルエクスポート機能.....	50
6.18.	ClAML エクスポート機能	51
6.19.	用語集の編集履歴管理機能	52
6.20.	用語の編集制限機能	53

1. 動作環境

1.1. 推奨動作環境

用語集ハンドリングシステム（以下、本システムと言う）が正常かつスムーズに動作する推奨の環境は以下のとおりです。

Windows2000、XP、VISTA、7の場合

<CPU>Pentium4/Celeron2.0GHz 以上、PentiumM 1.5GHz 以上

<有効メモリ>512MB 以上

1.2. 必須動作環境

本システムが正常に動作する最低限の環境は以下のとおりです。

Windows2000、XP、VISTA、7の場合

<CPU>Pentium4/Celeron1.5GHz 以上、PentiumM 1GHz 以上

<有効メモリ>512MB 以上

2. システム利用の流れ

本システムは、用語の作成・編集・管理を行う「用語集ハンドリングシステム」です。
システム利用の流れは以下の通りです。

①システムの起動

システムを起動します。

起動時に ID とパスワードが必要です。

②新規作成

②既存の用語集を「開く」・「インポート（取り込み）」

既存の用語集を取り込みます。

③用語の編集・閲覧

用語の編集・閲覧ができます。

④保存

用語集を保存する場合の保存形式は、XML ファイル（ファイル名：〇〇.xml）です。

※CSV ファイル（ファイル名：〇〇.csv）・ClAML 形式でエクスポート可能。

⑤用語集を再び開く

保存した用語集を再び開き、用語の編集・閲覧ができます。

3. システムの起動

※ WindowsXP で本システムを起動するには、.NET Framework 3.5 が必要です。「[付録. .NET Framework 3.5 のインストール方法](#)」を参考に.NET Framework 3.5 をインストールして下さい。

3.1. システムの起動方法（用語集の編集制限機能）

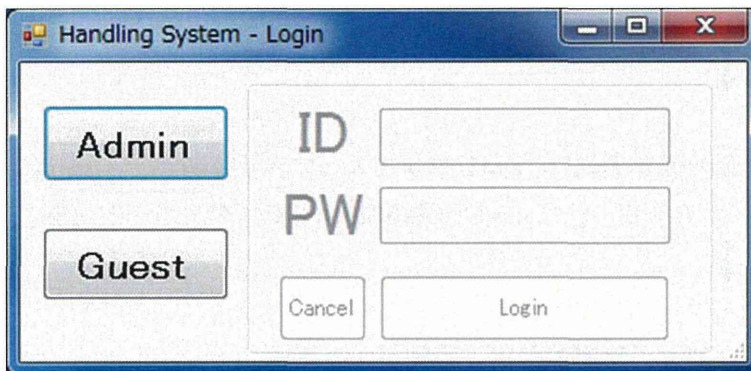
① zip ファイル（ファイル名：TerminologyHandlingTool.zip）を展開し、「TerminologyHandlingTool」フォルダを開いてください。

② 本システムのアイコンをダブルクリック／開いてください。



ファイル名：TerminalHandlingTool.

③ 「Admin」、または「Guest」を選択し、ID とパスワードを入力します。



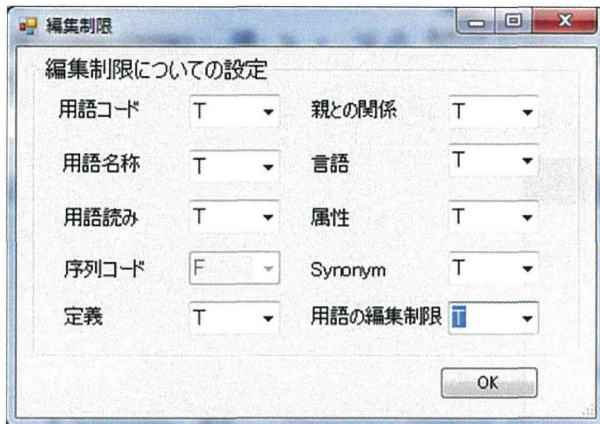
④ 名前を入力します。



⑤ 用語集の編集制限機能

(管理者) 編集制限を設定できるウィンドウが開き、配布する用語集ハンドリングシステムの編集制限を設定できます。

T…編集可能、F…編集不可能



⑥ (ユーザ) (管理者) 基本画面が開きます。



※画面項目の説明

画面①ファイル・編集・ツールのメニューから各種機能が利用できます。

画面②③で選択した用語の値・定義・Synonym等を表示、編集ができます。

画面③用語集の用語を階層構造 (Tree View) で表示します。

画面④用語追加・検索など各種機能が利用できます。

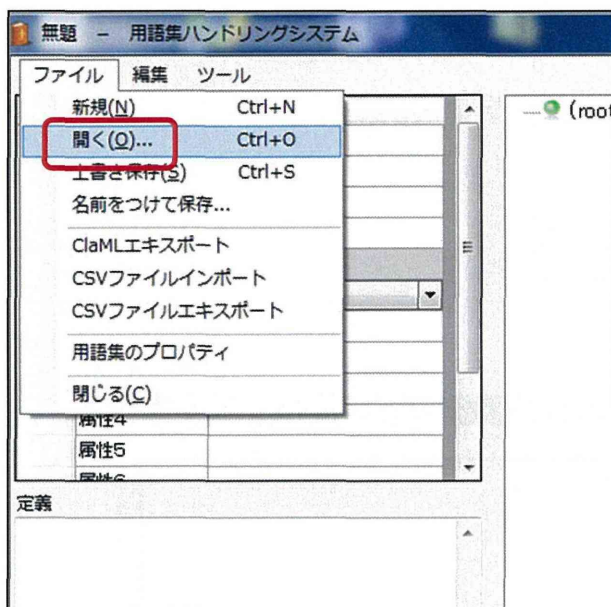
4. 基本手順

4.1. 用語集の新規作成

3 で示した基本画面上で用語集を新規に作成できます。

4.2. 既存の用語集を開く

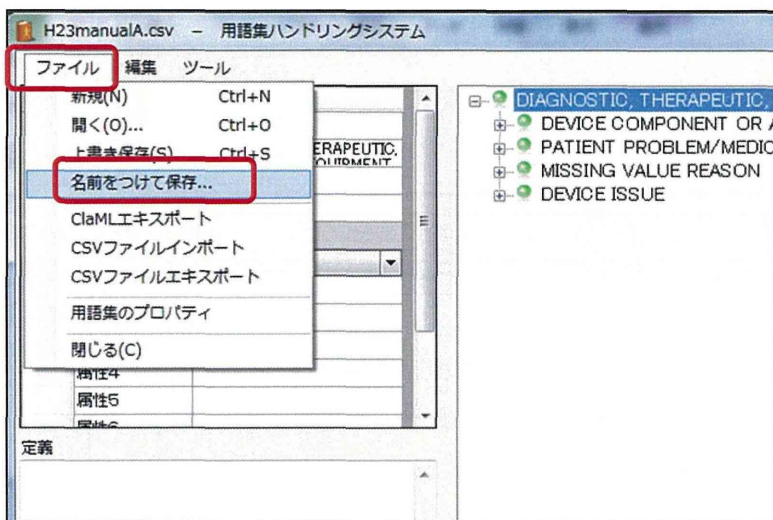
① 「開く」をクリックし、XML ファイルを選択します。



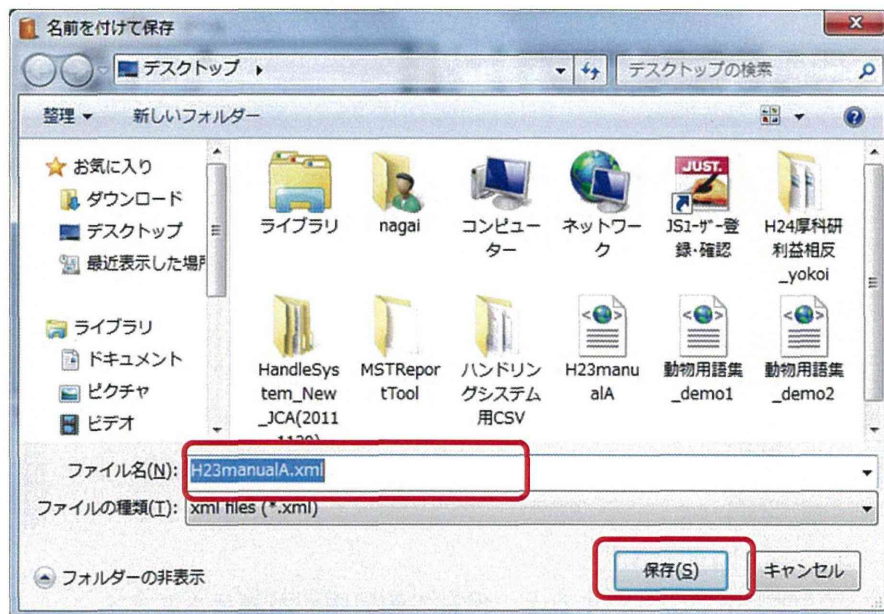
4.3. 用語集の保存

4.3.1. 名前を付けて保存

① 「ファイル」→「名前を付けて保存」を選択します。



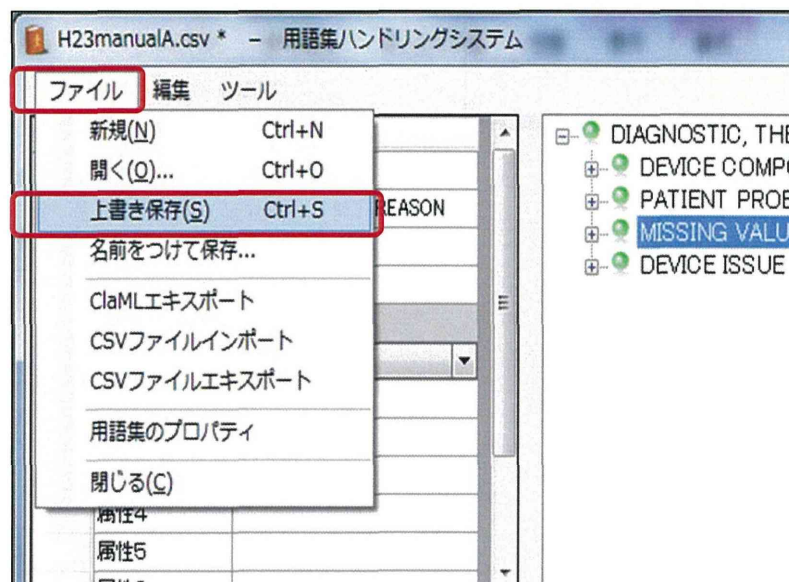
② ファイル名を入力し、「保存」ボタンをクリックします。



4.3.2. 上書き保存

現在開いているファイルに上書き保存をします。

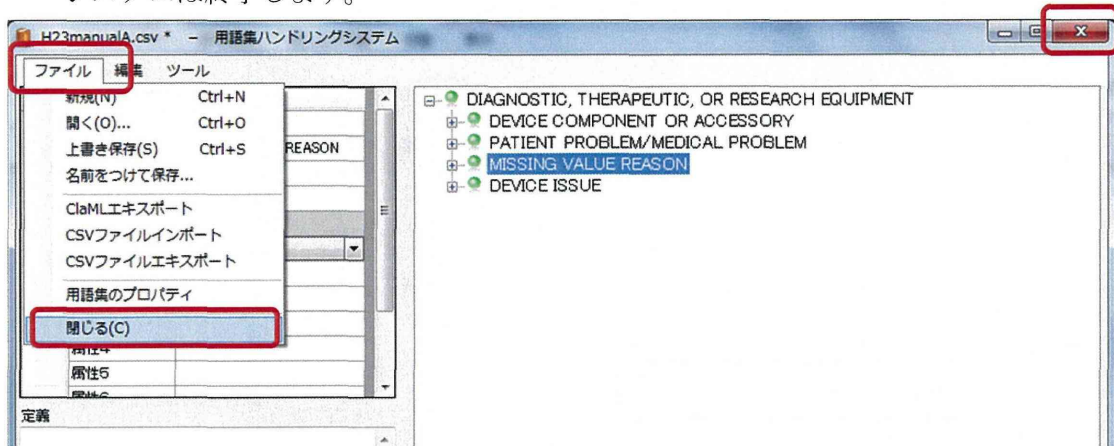
① 「ファイル」→「上書き保存」を選択します。



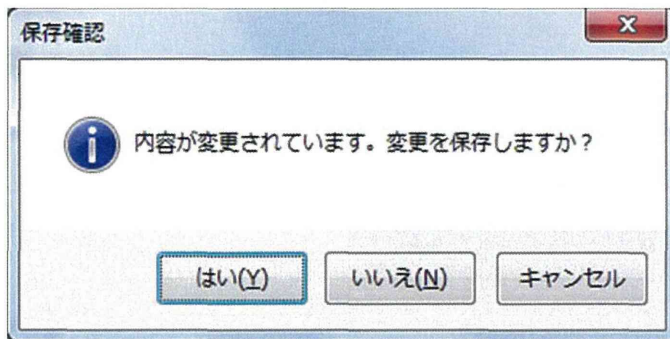
※新規のファイルの場合、「上書き保存」を選択すると「名前を付けて保存」のウィンドウが表示します。

4.4. システムの終了

- ① 「ファイル」→「閉じる」を選択または、画面右上の「×」ボタンをクリックするとシステムは終了します。



※内容を保存していない状態で閉じようとする、保存の確認画面が表示されます。



5. CSV ファイルの作成

5.1. CSV ファイルのレイアウト

取り込み対象となる CSV ファイルは次のようなレイアウトで構成されます。

列	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	J
項目名	用語コード	用語名称	用語読み	序列コード	定義	親との関係	親コード	編集制限	空欄	参照 / Synonym 指定	属性 1	属性 2

5.2. 各項目の入力内容

各項目に入力する内容は次の通りです。

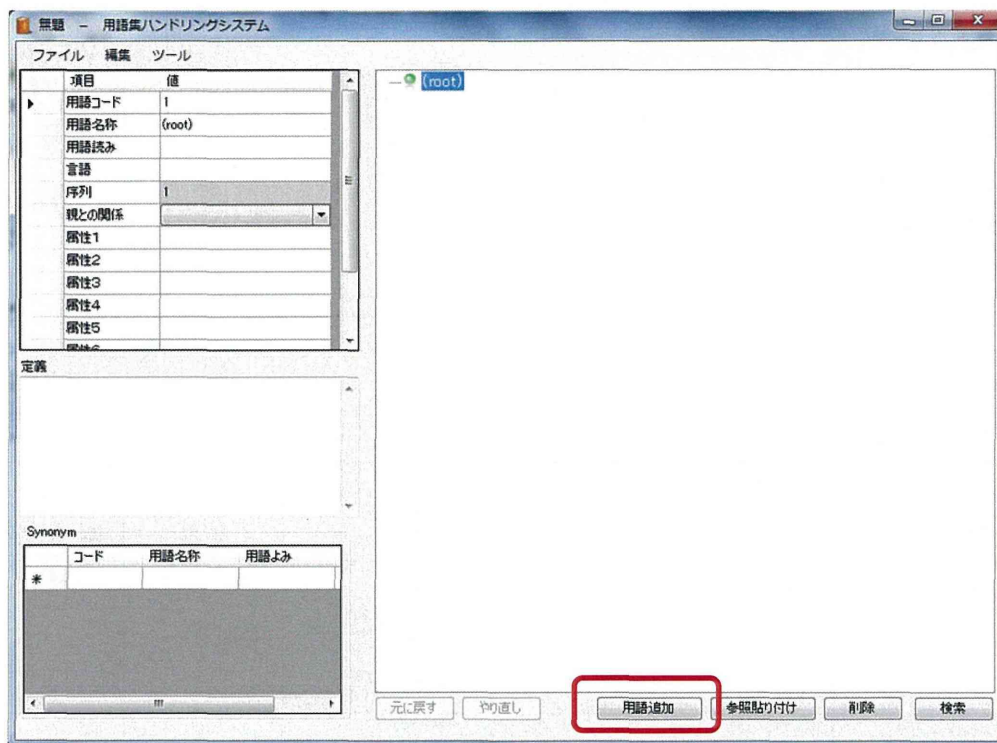
列番号	A	B	C	D	E	F
項目名	用語コード	用語名称	用語読み	序列コード	定義	親との関係
内容	ユニークなコードを入力	名称を入力	読み方を入力	同階層の何番目のコードであるか入力	用語の説明を入力	—
入力制限	英数字のみ 省略不可	—	—	—	—	—

列番号	G	H	I	J	K～
項目名	親コード	編集制限	空欄	参照用語 / Synonym 指定	属性 1～
内容	親（上の階層になる用語）の用語コードを入力	—	—	“R”であれば参照用語を“R”、Synonym を“S”と入力	属性はいくつでも追加可能
入力制限	英数字のみ 省略不可	—	—	—	—

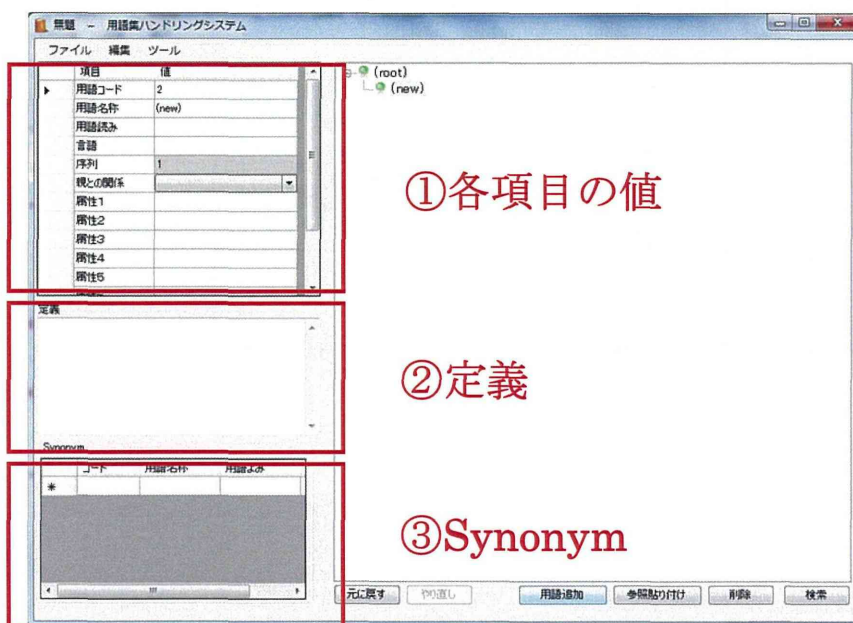
6. 各種機能

6.1. 用語の追加

① 「用語追加」ボタンをクリックすると、選択した用語の配下に用語が追加されます。



② 選択している用語（追加した用語）の①各項目の値、②定義、③Synonym等を入力し、用語の追加は完了です。



※ 各項目の値

項目については次の内容を入力して下さい。

入力したい項目の値を選択し、ダブルクリックをすると入力出来ます。

項目	値に入力する内容	入力制限
用語コード	各用語にユニークなコードを入力	英数字のみ 省略不可
用語名称	用語の名称を入力	
用語読み	用語の読み方を入力	
言語	用語の言語を入力	
序列コード	同階層の何番目の用語かを自動入力	編集不可
親との関係		
属性 1		
属性 2		
属性 3		
属性 4		
属性 5		

※ 定義

定義がある場合は入力して下さい。

※ Synonym

選択している用語の Synonym の登録出来ます。

項目については次の内容を入力して下さい。

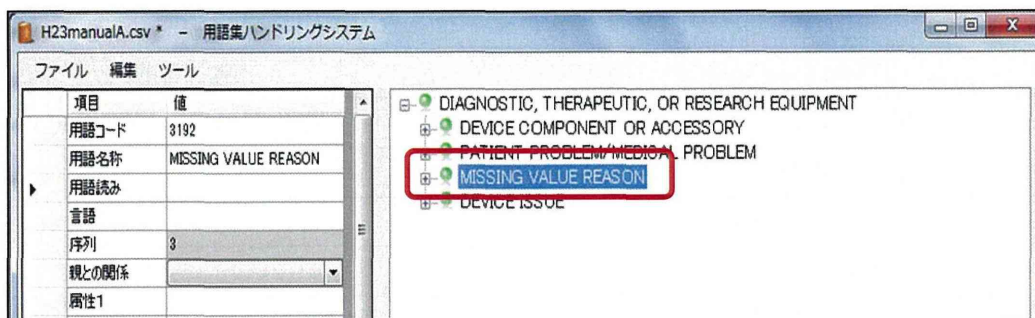
入力したい項目の値を選択し、ダブルクリックをすると入力出来ます。

※Synonym は複数件の登録が可能です。

項目	値に入力する内容	入力制限
コード	各用語にユニークなコードを入力	英数字のみ
用語名称	用語の名称を入力	
用語よみ	用語の読み方を入力	
言語	用語の言語を入力	

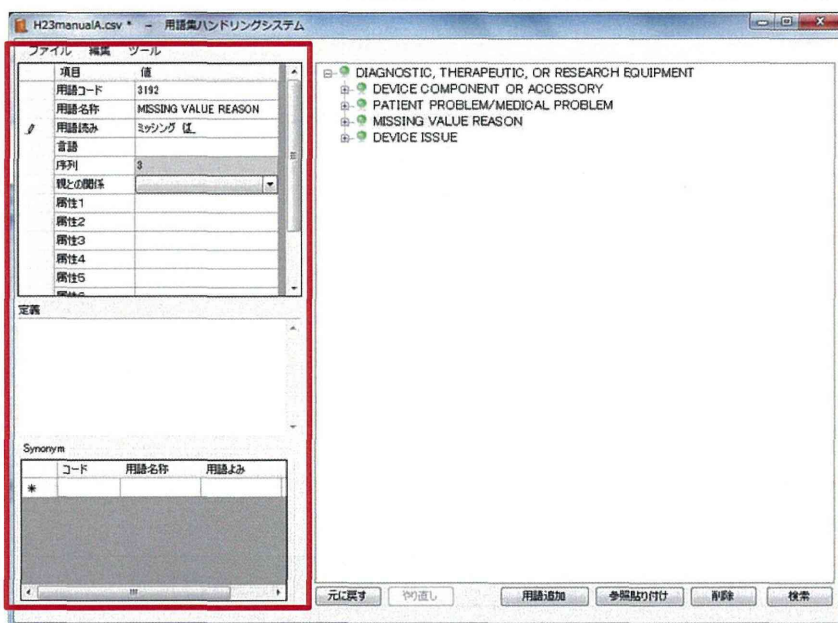
6.2. 用語の編集内容の変更

① 編集内容の変更をする用語を選択します。



① 項目の値、定義、Synonym に編集内容を入力します。編集したい項目の値を選択し、クリックをすると入力が出てきます。

入力後、Enter を押すと編集内容が反映され編集は完了です。



※ 編集中にコードの重複が見られた場合、「用語コードと重複しています。」と警告が表示されます。

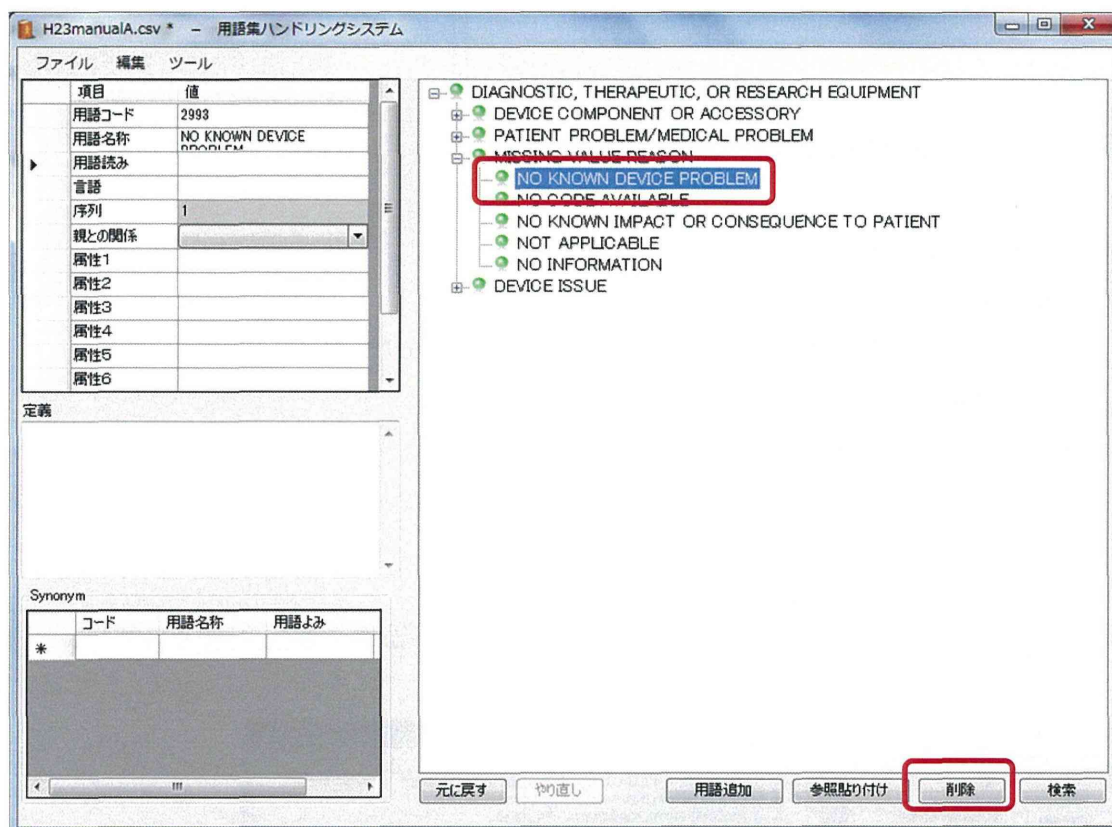
6.3. 用語の削除

用語の削除方法には次の2種類があります。

- ・「削除」ボタンからの削除
- ・編集メニューからの削除

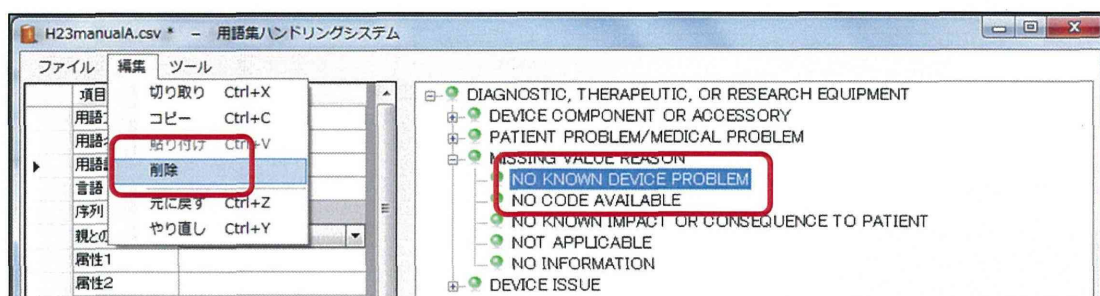
※ 「削除」ボタンからの削除

- ① 削除したい用語を選択し、「削除」ボタンをクリックします。



※ 編集メニューからの削除

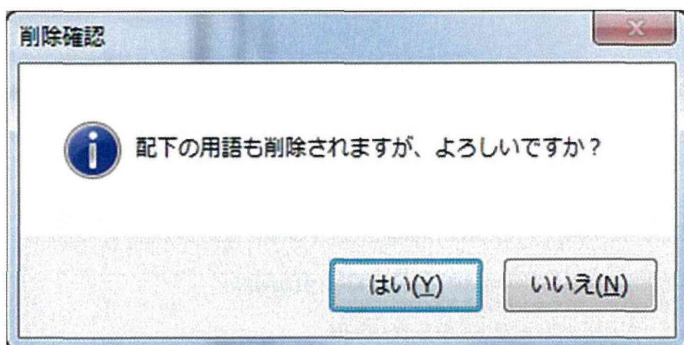
- ① 削除したい用語を選択し、「編集」→「削除」を選択します。



※配下に用語がある場合は、次の確認メッセージを表示します。

「はい」をクリックすると、配下の用語も一緒に削除されます。

「いいえ」をクリックすると、「削除」ボタンをクリックする前の状態に戻ります。



6.4. 用語の切り取り・コピー・貼り付け機能

用語の切り取り・コピー・貼り付けをします。

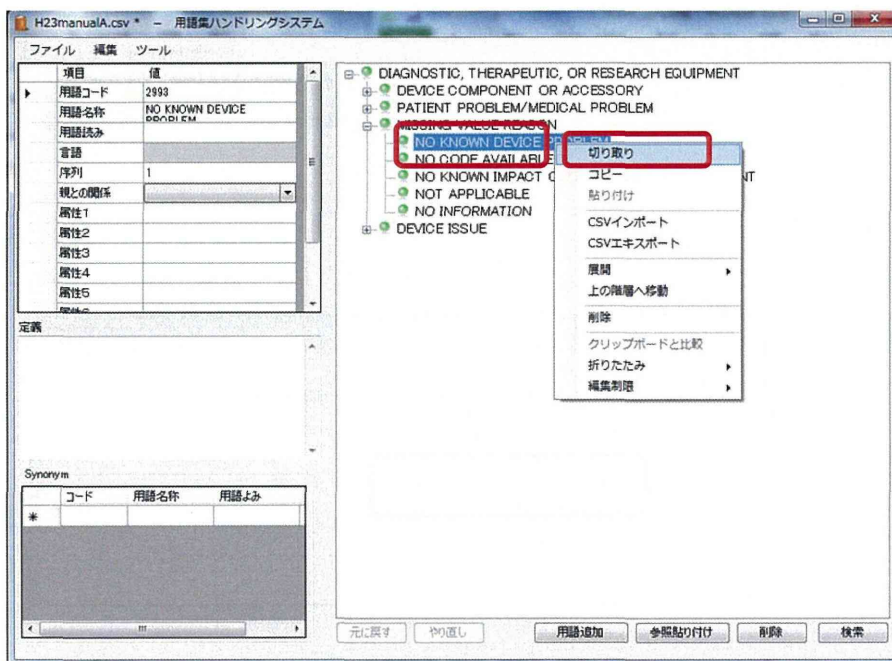
切り取り・コピー・貼り付けをする方法は次の2種類があります。

- ・右クリックからの操作
- ・編集メニューからの操作

※ 右クリックからの操作

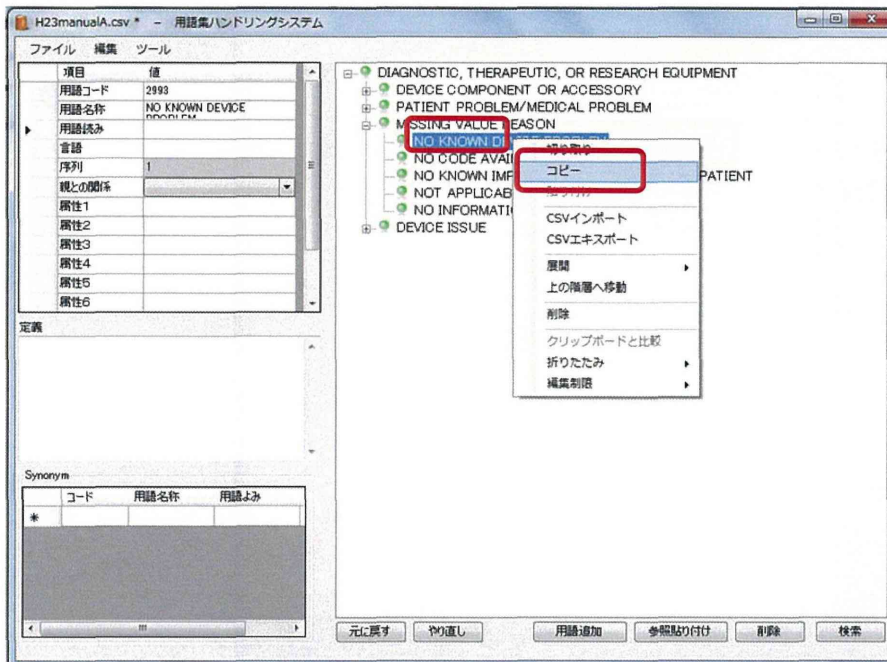
「切り取り」:

切り取りをする用語を選択し、右クリックするとメニューが表示され、「切り取り」をクリックします。



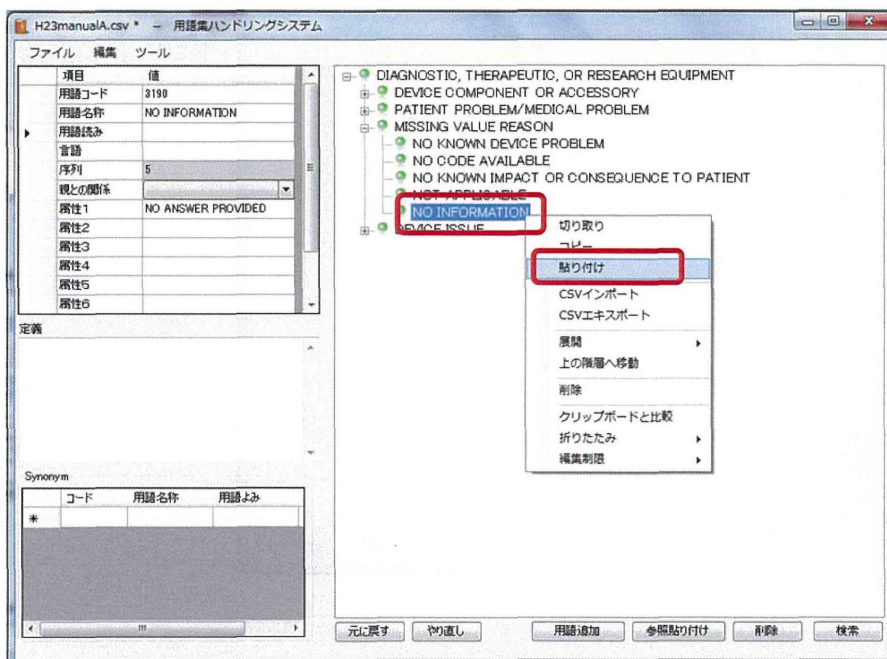
「コピー」:

コピーをする用語を選択し、右クリックをするとメニューが表示され、「コピー」をクリックします。



「貼り付け」:

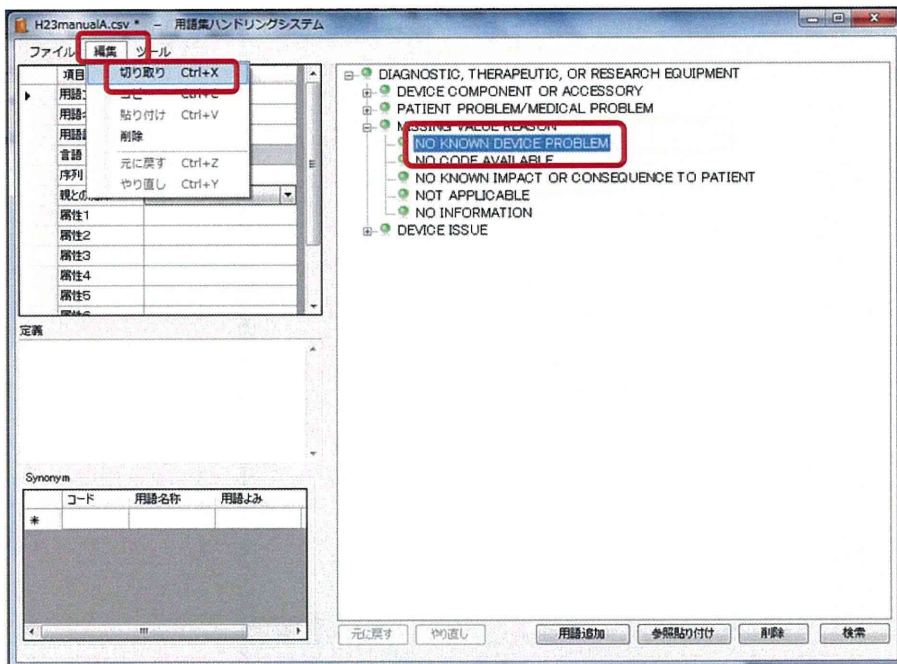
切り取り、またはコピーした用語を貼り付けする階層の親の用語を選択した状態で、右クリックをするとメニューが表示します。「貼り付け」を選択します。選択していた用語の配下に切り取り、またはコピーした用語が貼り付けられます。



※ 編集メニューからの操作

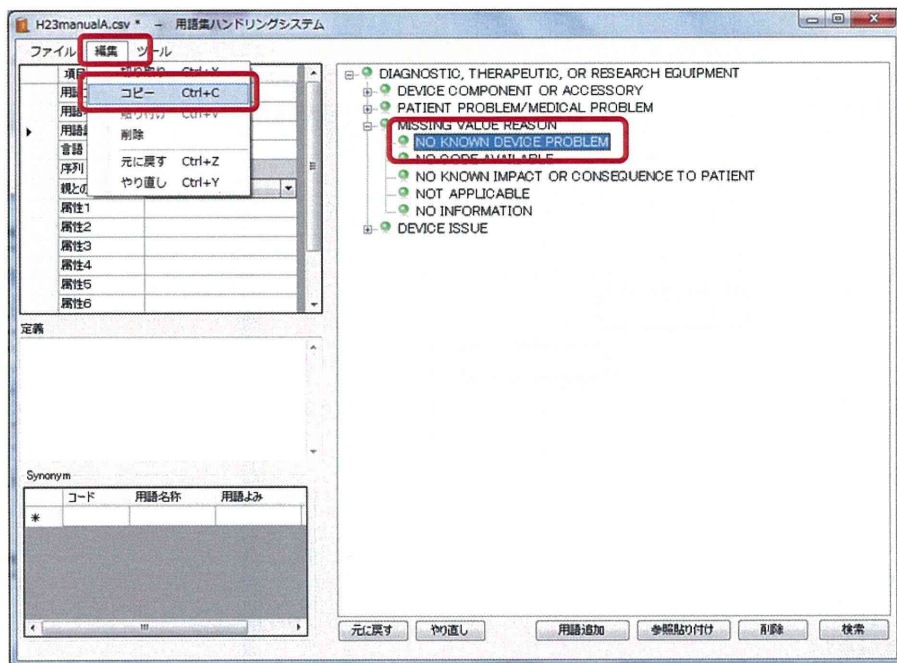
「切り取り」:

切り取りする用語を選択し、「編集」→「切り取り」を選択します。



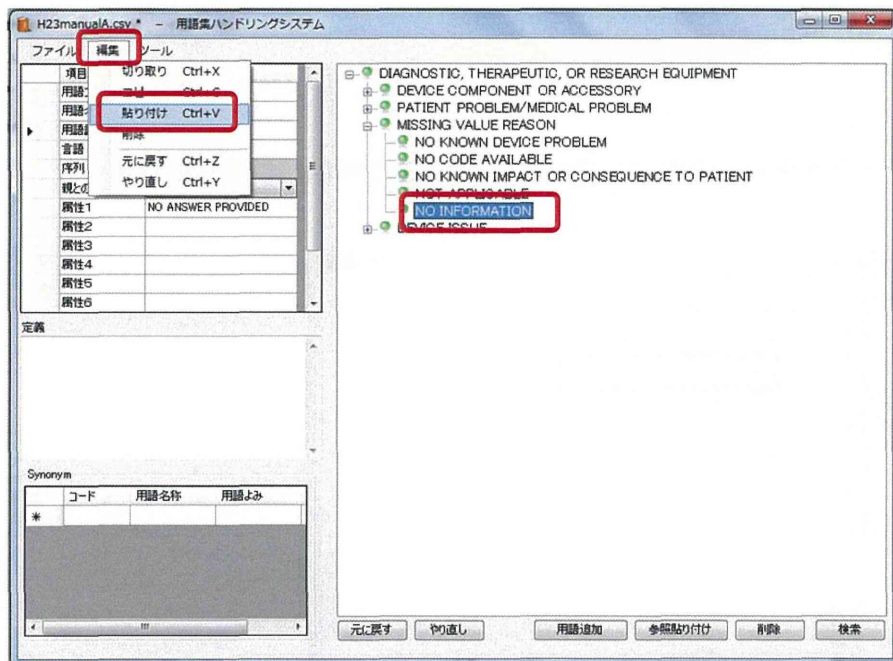
「コピー」:

コピーをする用語を選択し、「編集」→「コピー」を選択します。



「貼り付け」:

- ① 切り取り、またはコピーした用語を貼り付けする階層の親の用語を選択し、「編集」→「貼り付け」を選択します。選択していた用語の配下に切り取り、またはコピーした用語が貼り付けられます。



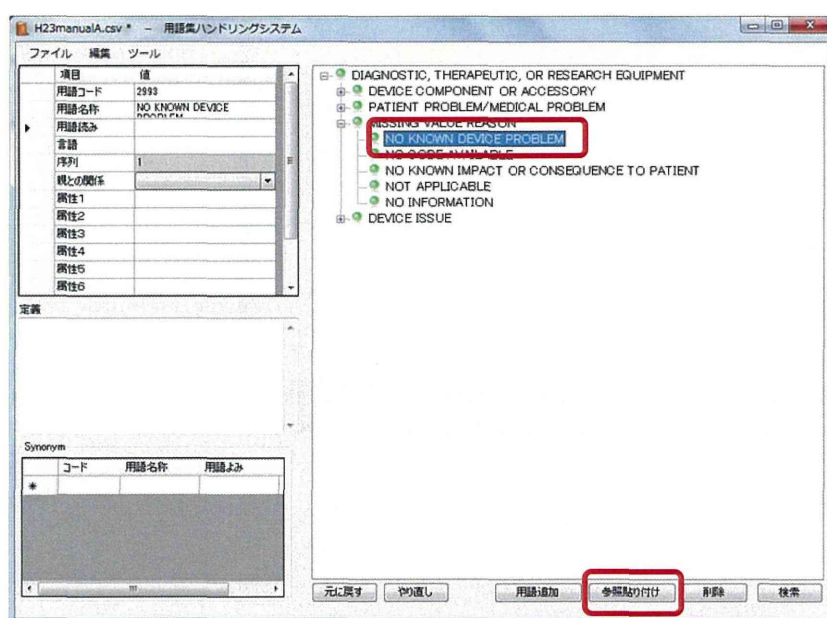
6.5. 参照貼り付け機能

元となる用語も規定してその配下の用語とともに別に位置に貼り付けします。
参照貼り付けをする方法は次の2種類があります。

- ・「参照貼り付け」ボタンからの操作
- ・ツールメニューからの操作

※ 「参照貼り付け」ボタンからの操作

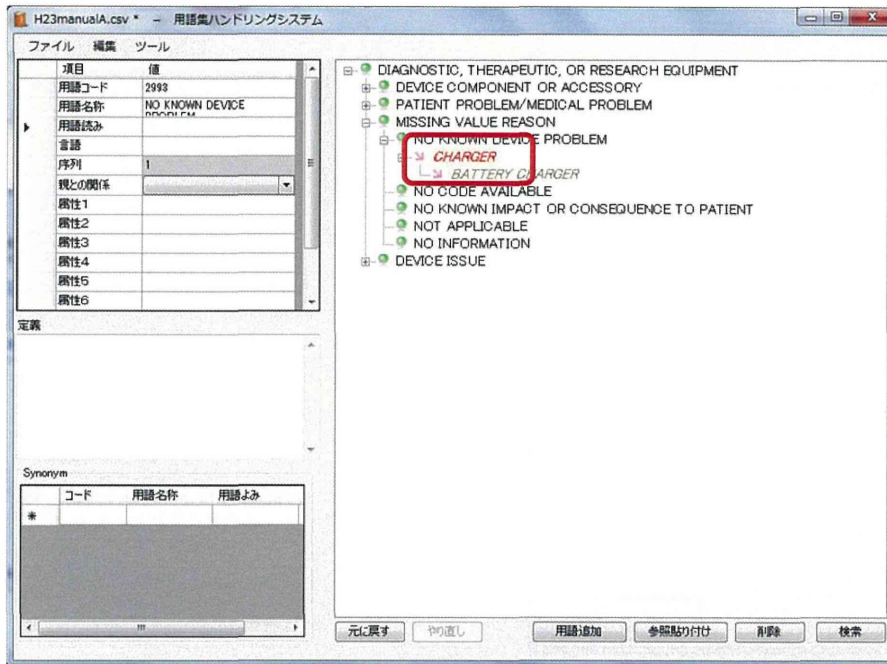
- ① 参照貼り付けをする階層の親の用語を選択し、「参照貼り付け」ボタンをクリックします。



- ② 「参照貼り付け」というウィンドウが出るので参照する用語を選択し、「OK」ボタンをクリックします。



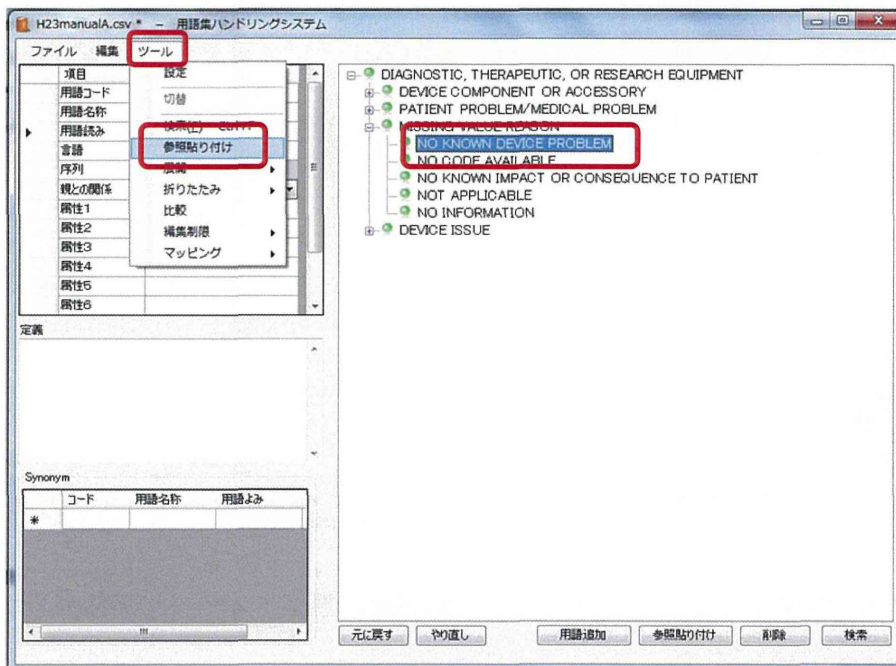
- ③ ②で選択していた用語の配下に参照する用語が貼り付けられます。
参照貼り付けをした用語は、赤文字で Tree View に表示します。



※参照貼り付けをした用語をダブルクリックすると、参照元の利用語へカーソルが移動します。

※ ツールメニューからの操作

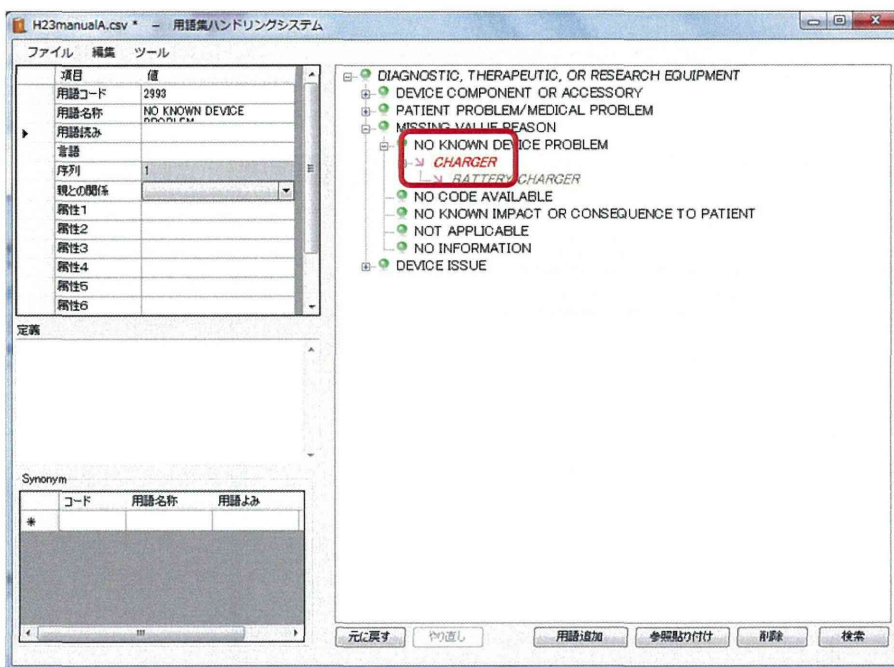
- ① 参照貼り付けをする階層の親の利用語を選択し、「ツール」→「参照貼り付け」を選択します。



- ② 「参照貼り付け」というウィンドウが出るので
参照する用語を選択し、「OK」ボタンをクリックします。



- ③ 1 で選択していた用語の配下に参照する用語が貼り付けられます。
参照貼り付けをした用語は、赤文字で Tree View に表示します。



※参照貼り付けをした用語をダブルクリックすると、参照元の利用語へカーソルが移動します。